

## 【理念の柱】

### 1. 利用者の尊重

共生の精神に則り、利用者の人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。

### 2. 自立支援

利用者の持つ能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるよう支援します。

### 3. 安心・安全な生活

利用者や家族が安心・安全な暮らしができるように支援します。

### 4. 地域との連携

地域住民又はその自発的な活動との連携及び協力を行う等の地域との交流に努め、地域の福祉サービスの拠点を目指します。

## 【運営の目的と基本方針等】

### 1. 運営目的

児童福祉法、児童憲章、子どもの権利条約の精神を理念として社会的養護を要する子どもに対して『子どもの最善の利益』のために、その自立心を損なうことなく、心身ともに健全な人間として、家族再統合、社会参加できることをめざして日々の援助を行うことを目的とする。

### 2. 基本方針

- ① 男女別2つのユニットと、男女混合5つのグループホームにおいて、家庭的養護を実践する。
- ② 温かい愛情と潤いに満ちた人間関係の中で、安心と信頼にあふれる生活環境を作り、子ども同士の連帯感を強め、集団を大切にし、子ども一人ひとりが本来持っている力が伸びるように努める。
- ③ 入所児童とその家族を支援の対象としたソーシャルワークを実践する。
- ④ より家庭に近い養育環境を必要とする子どもは養育家庭に委託する。
- ⑤ 家庭生活の体験の機会としてフレンドホームを積極的に活用する。
- ⑥ 治療的養育環境を整備し、子どもの心の回復と安定を図る。
- ⑦ 地域コミュニティーにおいては、社会福祉分野の貴重な資源としての機能を如何なく発揮する。

### 3. 外部監査

定期的に公認会計士による外部監査を受ける。会計、運営に関する分析から課題を抽出し改善方法を探る。

### 4. 第三者評価 (IMS ジャパン)

施設運営や養育、支援の内容について第三者による評価を受ける。評価結果については職員間で共用し、評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にできるようにする。



## 【令和4年度 事業計画 重点項目】

### 1. 養育・自立支援

- ①職員間で共通認識を持てる養育の研修（CARE）の実施と養育ハンドブックへの反映・活用  
達成指標：第三者評価項目（6-6-1-3）「日常的に手引書を活用」：59.2%（2021年）⇒65%
- ②児童自立支援計画書の子どもへのフィードバック方法の検討  
達成指標：フィードバック方法を養育ハンドブックに反映する。
- ③児童自立支援計画書策定会議への担当心理士の参加  
達成指標：心理士が参加できたか、もしくは心理士と生活担当職員とで合意された計画か。

### 2. 人材確保

- ①効果的な SNS 利用と人材確保ページ（ホームページ上）の運用  
達成指標：2023 年度に確保が必要な人数の 2 倍のエントリー数を達成。

### 3. 人材育成

- ①おたすけ隊制度、サポーター制度、管理職による管理体制、それぞれの機能の充実と連動  
達成指標：それぞれの機能や役割、業務内容等を見える化した上で、第三者評価項目（5-1-4-3②）「職員の働きがいの向上」：67.3%（2021年）⇒72.3%

### 4. 運営管理（事業継続・その他）

<事業継続>

- ①BCP に基づいた避難訓練の実施（洪水）  
達成指標：実施した上で、第三者評価項目（4-1-1-4②）「リスクへの対策や計画を理解し、役割に応じた対応ができる」：75.5%（2021年）⇒80%

<その他の運営管理>

- ①管理職の役割を更に明文化するとともに、組織図の見直し・整理する  
達成指標：組織図を整理した上で、実態に合わせた改訂を行う。
- ②フォスタリング機関事業を中心とした地域支援の事業化に向けた取り組み  
達成指標：フォスタリング会議の定期開催に加え、親子向けに新たな地域支援プログラムを展開（2022 年度累計 100 組の親子の参加を目標とする）

### 5. 修繕・財務特記事項

<財務：修繕計画>

- ・令和4年度：奥戸ホーム：外壁塗装（予算：240万円）
- ・令和5年度：新小岩ホーム：外壁塗装（予算：240万円）
- ・令和6年度～：四つ木ホーム⇒亀有ホーム⇒本園⇒木根川ホーム⇒奥戸ホーム⇒新小岩ホームと7年毎に塗装予定

<財務：特記事項>

- ・全児童のアレルギー検査の実施：新入所児童は全員、入所児童は何年度かに分けて検査の実施とするが、アレルギー症状のある児童を優先とする。
- ・車両入替：令和3年度より車両の入替計画が進行中。令和4年度は本園車両1台（車両ナンバー：25-25）と奥戸ホーム車両1台（車両ナンバー：37-41）の入替を予定。
- ・職員の増配置による影響と業務の効率化を図るため、5ヶ所のグループホームに職員用パソコンをそれぞれ1台ずつ増設予定（合計5台）。

